

情報公開文書

2026年2月11日 Ver1.0

2019年1月1日から2024年12月31日までに京都大学医学部附属病院消化管外科および共同研究機関で急性腹症に対して手術を受けられた患者さんへ

1. 研究の名称

高齢者の消化管穿孔および急性腸管虚血における術後ADL低下リスク因子の検討
：多機関共同コホート研究

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究の目的・意義

この研究の目的は、高齢者の消化管穿孔および急性腸管虚血に対する治療成績を調べ、術後ADLが低下しやすい患者さんを同定することです。本研究により、早期介入および術後経過の改善につなげることが可能となります。

4. 研究実施期間

研究期間は研究機関の長の実施許可日から2028年3月31日までを予定しています。

5. 対象となる試料・情報の取得期間

当科で2019年1月1日から2024年12月31日までに消化管穿孔および急性腸管虚血に対して緊急手術を受けた65歳以上の患者さんが対象となります。

6. 試料・情報の利用目的・利用方法

カルテに保存されているデータを後方視的に収集します。データは、各機関において個人を特定できる情報を削除し、研究代表機関である京都大学に集約されます。患者さんの個人情報を公開することはありません。

7. 利用または提供する試料・情報の項目

利用する情報はカルテに保存されているデータ（年齢、性別、疾患名、手術の術式、手術前後の治療、手術の成績など）です。

8. 利用または提供を開始する予定日
研究機関の長の実施許可日から
9. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学医学部附属病院消化管外科 教授 小瀨和貴
10. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。
11. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法
他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、相談窓口までお知らせください。
12. 研究資金・利益相反
この研究は消化管外科運営交付金を資金源とし、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。
13. 研究対象者等からの相談への対応
 - 1) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学医学部附属病院消化管外科医局
水野良祐
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
TEL：075-366-7595
 - 2) 京都大学の相談窓口
京都大学医学部附属病院臨床研究相談窓口
TEL：075-751-4748
E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

14. 研究機関及び共同研究機関の名称・研究責任者の氏名

1) 研究代表機関の研究責任者：

京都大学医学部附属病院消化管外科 教授 小濱和貴

2) 共同研究機関の研究責任者

河合 隆之	医学研究所北野病院 消化器外科
桂 隆介	大阪赤十字病院 消化器外科
多賀 亮	大津赤十字病院 外科
西山 和宏	関西電力病院 消化器外科
西川 裕太	京都市立病院 総合外科
中尾 海	神戸市立医療センター中央市民病院 外科
口分田 堯	神戸市立医療センター西市民病院 消化器外科
土佐 明誠	神戸市立西神戸医療センター
末永 尚浩	国立病院機構 京都医療センター 外科
守山 雅晃	国立病院機構 姫路医療センター 消化器外科
平山 楓	公立小浜病院 外科
河原林 卓馬	公立豊岡病院 消化器外科
原田 溪	小倉記念病院 外科
参島 祐介	滋賀県立総合病院 外科
谷川 優麻	神鋼記念病院 消化器外科
森本 智紀	高松赤十字病院 消化器外科
石田 薫平	天理よろづ相談所病院 消化器外科
佐々木 悠大	彦根市立病院 消化器外科
谷野 敬輔	兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器外科
山本 晃平	福井赤十字病院 消化器外科
花田 圭太	洛和会音羽病院 外科